

## 日本人と外国人受験者の ～ 受験能力の比較調査結果 ～

本号では、外国人受験者の言語能力の問題を日本人受験者と比較して、不合格原因を探った。

全国の外国人受験者の問題を捉えた時、ほとんどの関係者が非常に狭義に国家試験を捉えており、その受験対策方法が「受験テクニックと専門用語習得」に、あまりにも偏り過ぎていることが、今回の調査で明らかとなった。

その結果、仮に合格できて十分な言語能力が無いために【実務能力の欠落があるため、戦力となり得ず】という新たな問題が生じてきている。本号では、このような新たな問題を克服するために【合格と同時に戦力となり得る教育】を、受験対策の中で養うことを関係者に喚起するため特集した。

### 1、不合格原因の内容

表 1

|                                       | 原因 | 日本人受験者                     | 原因 | 外国人受験者           |
|---------------------------------------|----|----------------------------|----|------------------|
| 専門知識                                  | 無し |                            | 無し |                  |
| 専門用語読解力                               | 無し | 母語のため<br>有利 30%            | 無し | 外国語のため<br>不利 80% |
| 文意読解力                                 | 無し | 有利 60%                     | 無し | 不利 90%           |
| 文脈読解力                                 | 無し | 有利 50%                     | 無し | 不利 95%           |
| 社会用語力                                 | 無し | 有利 80%                     | 無し | 不利 80%           |
| 専門知識が不十分でも、日本語力があるために類推でき、合格の可能性が高まる。 |    | 専門知識があっても、日本語力が無ければ不合格になる。 |    |                  |

日本語理解力

★ 表 1 を見ると、日本語理解力が合格を決定する最大の要因であることが明白だ。なぜならば、「国家試験問題は外国人を主な対象としてはおらず、あくまでも、日本人受験者を対象としたものであり、その日本人の中から合格者を選定する試験問題」であるからだ。

★ 多くの関係者は表 1 の外国人受験者の「不利さ」を気づかずに、日本人受験者の試験対策方法と同じように行っており、その結果、毎年不合格者を多に出す原因を作り出している。即ち、「受験テクニック」の手法はあくまでも、日本語理解力を有している日本人受験者のためのテクニックであり、「外国人には日本語理解力が無いままに、そのテクニックを習得させても、試験問題を正しく理解することなく、選択文を選び出す方法を学んでいる」と言わざるを得ない。

★ その結果、仮に合格できて実務能力に通じる受験勉強をしていないため、業務遂行能力が無い状態となっているのが現状だ。表 1 の下欄の文を比較すると、不合格原因が明白に理解できるので、この文を慎重に吟味する必要がある。

### 2、不合格原因の一番の要素 (試験問題文は、社会用語が 60%～70%を占める)

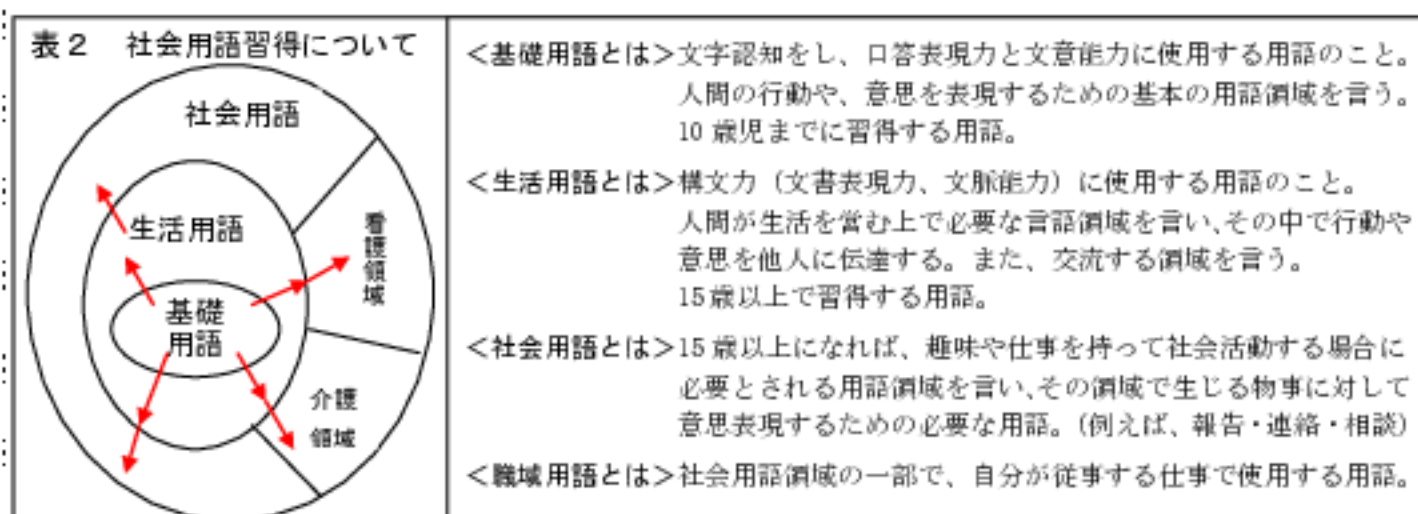
★ 表 1 の「社会用語力」を設けた理由は、試験問題に使用されている用語を解析した結果、社会用語の使用比率は専門用語に比べてはるかに高く、60～70%にも及び、専門用語より高い比率を占めていることが判明した。そのために、日本人受験者の社会用語習得は「言語習得過程 (10～18 歳まで)」において十二分に習得できており、試験問題に対応する能力が備わっていることが明らかだ。

★ しかしながら、外国人受験者にとってはその社会用語習得に対する期間がほとんどない。そして、「専門知識を習得するのではなく、専門用語を中心とした受験対策のために、問題文を理解する能力は、日本人の半分以下と言わざるを得ない状態」で受験していることが、今回の調査で明確となった。

- ★ 不合格の大きな原因は、「社会用語に対する習得不足と、理解不足」という結果が出たことは、想定外のことだ。このことが判明した以上、今までの受験対策のやり方を早急に改めて、根本的に「外国人の国家試験問題に対する考え方」を変えざるを得ないことが明確となった。

### 3、不合格原因の二番目の要素（言語習得過程とは逆の学習方法）

- ★ 表1で比較した通り、日本人に比べて外国人受験者の言語能力の「不利さ」がより鮮明になった。この「不利さ」を解消するためには、表2の図（用語の領域図・人間が言語を習得する過程）を理解すれば、自ずと具体的な方法が判明する。
- ★ 【人間が言語習得をする過程】を順守することが、外国語の習得を容易にする方法だ。即ち、言語能力として必要な「基礎知識を基に積み上げて、職域における言語能力を習得する」という、当然の過程を経ることが、一番重要な解決方法と言える。しかし、現状ではこの過程を無視した受験対策を行っているために、不合格の原因を作り出していることに気づいていないことは驚くべきことだ。

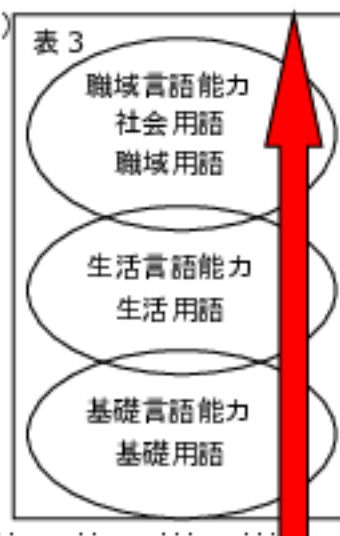


- ★ この不合格原因に対して、気づいていない関係者のためにここで再度、例示を挙げて説明したい。

例示) 日本人が外国へ仕事を求めて行った時、その言語力は現地の小学校3年生レベルでしかなかった。しかし、就職試験を受けるためにその職種に関する専門用語の習得を中心に学習した。ところが、外国語による試験問題を見た途端に、文の中で数語の専門用語は理解できるが、文全体の意味は不明のままに、答えを選ばざるを得なかった。後日、幸いにも、就職試験に合格して業務をすることになったが、職域での外国語力はほとんど無く、毎日の仕事が行えず途方に暮れ、最終的には、労働能力をも疑われて帰国せざるを得なかった。（これを言語障害者と言う）

### 4、不合格原因の三番目の要素（非科学的で無計画な日本語教育）

- ★ 表3のように、「言語能力」を養うための過程を辿っておらず、学習段階をとばして、職域言語能力を無計画で、無理やりに行っていることが不合格原因の大きな要素だ。
- ★ 「覚える・記憶する」日本語学習を中心に、「使える日本語」を身につけられない教育方法が蔓延している。基礎となる言語能力を固められず、瞬時に反応できる能力をも養えず、そして、自学できずに、常に職員の労力を割かなくてはならない学習方法は、受け入れ機関にとって負担が増大し、労働力強化にもなっていない学習方法は、受け入れ機関にとって負担が増大し、労働力強化にもなっていない実態だ。再度、この問題に目を向けて、本気で改善しなければならない。



## 第2弾

### あなたの实力を見る「10 分間テスト」

- ★ 解答を弊社までお送り頂ければ、採点をして簡単な考察を返送します。  
今後の受験対策に考察結果を役立てて、合格できるよう、ご活用下さい。

|      |       |
|------|-------|
| 施設名： | 受験者名： |
| FAX： | メール：  |

1-1) 「刻み食」の読み方を（ ）に書きなさい。 ( 刻み食 ) 漢 1

2) 「刻み食」とはどんなことですか。 次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 高齢者が食べやすいように、やわらかく煮た食べ物のこと。  
② 高齢者が食べやすいように、小さく切り刻んだ食べ物のこと。  
③ 高齢者が食べやすいように、とろみをつけた食べ物のこと。  
④ 高齢者が食べやすいように、歯ごたえのよい食べ物のこと。

☐

3) 食事介助に関する記述として、刻み食が必要な場合でも、刻む前の食べ物の状態を見てもらうこと (A) と、食事の前後に、義歯の有無を確認すること (B) と、片麻痺のある人には、口の麻痺側にスプーンを入れること (C) と、一口ごとに、口の中に食べ物が残っていないかを確認すること (D) とがあるが、このうち、適切でないものを一つ選びなさい。

☐

2-1) 「食欲低下」の読み方をカタカナ文字で（ ）に書きなさい。 ( 食欲低下 ) 漢 2

2) 「食欲低下」とはどんなことですか。 次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 食事をする意欲や食事の量が増えること。  
② 食事をする意欲や食事の量が減ること。  
③ 食事をする回数が増えること。  
④ 食事を全くとらないこと。

☐

3) 「食欲」とは生活リズムや精神状態に左右されるため、日頃の生活を知ることが有効である場合 (A) や、利用者の食習慣や嗜好への配慮が、食欲低下の改善につながることもある場合 (B) や、片麻痺のある人が臥床したままで食事をする場合は、健側を上にして介助することなど (C) があり、さらに、食器を選ぶ場合は、大きさや重さとともに個人の好みにも配慮する必要がある場合 (D) があるが、このうち、適切でないものを一つ選びなさい。

☐

<送付先> ことばの研究社 FAX : 03-6677-0632

## 考察票の的確な指摘に「驚きの声」

- ★ 受験者の言語能力到達度を知りたい方は、「10 分間テスト」に是非、ご参加下さい。  
そして、教育指導に不安のある方は、教育相談をご利用下さい。
- ★ 「考察」は受験者の言語技能 10 項目について、全て数値化して解析・解明したアドバイスを具体的に行いますので、学習指導にとっても役立つ情報です。

### 「＜月報 23 号・合格できない原因＞ を読んで・・・！！」

- 不合格原因の理由を具体的に示され、日頃から思っていた点とあまりにも一致していたので、非常にショックだった。現場の教育指導者は、残念ながら客観的に不合格原因を考えようとしなかったために、「従来通りの学習の仕方」を続けている。受験者は、会話がある程度できるために指導する者も「日本語はできる」という思い込みが強い。指導する者の考え方が変わらないといけないと思っている。(青森県・K施設)
- 現場では受験者の能力を具体的に把握していないために、「本当にどれ程の能力があるか分からない」ままに指導している。不合格原因を具体的に示されて、改めて客観的な能力の程度を把握する必要があると強く思った。(神奈川県・K施設)

### 「10分間テストでは、客観的・具体的な 指導が有益だった・・・！！」

- 案内を頂いた「10 分間テスト」を実施してみた。国家試験の対策をずっと行っていたが、10 分間という決められた時間内で問題を解く事が大変難しく、時間がギリギリだった。先日、事業団のテストも受けさせたが、同じく時間が足りなかった。日本語に対して瞬時に反応できる読解力の必要性を強く感じた。
- 考察指導内容は、受験者一人ずつの能力が詳しく書かれており、個別に注意する点も記載されていたので、とても参考になった。  
夏休みで一人帰国しているので、戻ってきたら早速、この考察票を見ながら指導していきたいと思う。また、教育相談をしたいので、宜しくお願いしたい。(鹿児島県・I病院)

### 「考察票の的確な指摘と指導に驚き」

- 入職してからずっと日本語教師に指導を依頼し、個人レッスンで学習している。今回は国家試験対策ということで、「10 分間テスト」を受けてみた。
- 「テスト結果と考察票」は、受験者の言語能力を技能別に数値で表しているために、弱点が具体的に把握できて、今後の学習指導の参考になった。依頼している日本語教師は、学習成果の具体的な報告が一切無く、指導の仕方があまりにも違い過ぎて驚いた。  
今の状態のままでは、合格できるか心配だ。(富山県・U病院)

### 「合格するための読解力の無さを 改めて実感・・・！！」

- 「10 分間テスト」を受けたが、時間がギリギリだった。問題文で、漢字の読みを「ひらがな」ではなく、「カタカナ文字」で書かなければならないことに対して、受験者が戸惑っていた。月報 16 号に、外国人の特徴として、カタカナ文字が読めない・書けない人が多くいるという指摘があったが、今回のテストを受けてみて、うちの受験者もカタカナ文字が書けないことがよく分かった。
- 送られてきた「指導・考察票」を読んでみると、受験者の能力が数値化され、さらに、受験者の弱点などが具体的に記載されていた。その内容が、あまりにも的確を得たものでびっくりした。
- 電話で教育相談をして頂き、このテストをきっかけに読解力の無さもよく分かった。相談では、多くの受験者が習得できていない「社会用語と専門用語の違い」などを詳しく電話で聞けたので、今後の参考に指導していきたい。(福岡県・F病院)

＜お問い合わせ先＞ FAX : 03-6677-0632  
メール : kotoba\_ken@yahoo.co.jp

## 【国家試験受験能力到達度試験】参加のおすすめ

- 1、受験者には試験結果に基づき、考察票（言語能力到達度）にあわせて学習指導をしますので、担当者が客観的な「考察票評価」に基づいて現状を把握することができます。  
さらに、担当者が考察票の指導方法に基づいて具体的な学習指導ができるために、その結果、受験者の言語能力が向上します。
- 2、言語能力の到達度チェックは、2ヶ月単位に到達度数値を見ることが大切です。  
常に、受験者の言語能力の変化を定期的に観ることで、国家試験受験能力の向上を促すことができます。今後、受験勉強と同時に、職域での実践力がある人材育成を目指すことが重要です。  
そのためにも、【国家試験受験能力到達度試験】を受けることをおすすめします。
- 3、受験対策は、国家試験過去問題だけに偏ることなく、過去問題以上の難易度の高い試験問題に対応できる能力を養うことが、国家試験合格率を高めることとなります。この理由から、本試験のEレベル～国試3レベルまでは、国家試験問題よりも高度な問題作成となっていますので、必然的に合格率の可能性が高まるように作られています。
- 4、最も大切な言語能力は、日本語の基礎言語能力（初回～Dレベル）です。この段階の到達度が目標数値を越えれば、国家試験受験能力はほぼ達成できるように作られています。

|                                               |      |                        |  |
|-----------------------------------------------|------|------------------------|--|
| 【国家試験受験能力到達度】試験と【教材】申し込み書                     |      | <送付先：FAX 03-6677-0632> |  |
| 施設名/病院名：                                      |      | ご担当者名：                 |  |
| 所在地：〒                                         |      |                        |  |
| 電話：                                           | FAX： | メールアドレス：               |  |
| <受験人数> 名                                      |      |                        |  |
| <受験者の国籍> インドネシア（ 名） フィリピン（ 名）                 |      |                        |  |
| ※ 下記の料金は受験者1名あたりの金額です。該当するレベルを○で囲んで下さい。       |      |                        |  |
| <単発受験>                                        |      |                        |  |
| 初回・レベルA・B・C・D・E・F・国試1・2・3 @20,000円 × 名 合計金額 円 |      |                        |  |
| ※ 考察のみで、電話やメールでの指導相談は行いません。                   |      |                        |  |
| <継続受験>                                        |      |                        |  |
| 初回から全10回（教材費・考察指導料込み） 190,030円 × 名 合計金額 円     |      |                        |  |
| ※ 継続受験については、電話やメールでの指導相談を随時、行っています。           |      |                        |  |

★ 教材のおすすめ 下記の教材は、受験者が自分で日本語の【規則性と用法・運用能力】を養うことができる自学教材です。特に、国家試験問題に対して必要な「読解力」が養えます。

※ ご希望の教材の冊数を（ ）内に必ず、ご記入下さい。

|                   |             |            |
|-------------------|-------------|------------|
| 100万人の日本語No.1（ ）冊 | ひらがなかーど（ ）冊 | 漢字の一と1（ ）冊 |
| 100万人の日本語No.2（ ）冊 | ひらがなの一と（ ）冊 | 漢字ノート2（ ）冊 |
| 100万人の日本語No.3（ ）冊 | カタカナノート（ ）冊 |            |

お申込書が届きましたら、一週間以内に教材をお届け致します。教材到着後、三日以内に同封しているお振込み先にお支払い下さい。送料は着払いにさせていただきます。

ことばの研究社 〒164-0002 中野区上高田 3-2-13 石田ビル 303

電話：03-6317-6009 FAX：03-6677-0632 メール：kotobaken@yahoo.co.jp

